

議会だより

行政報告……………	2～3
町政のそこが聞きたい……	4～5
(一般質問)	
委員会の動き……………	6～7
決算審査特別委員会……………	8～9



細見浩氏の木版画「根室原野5月 春の武佐岳 桜花」を下絵として新調された緞帳
 〈平成27年11月22日(日) 川北小学校開校100周年記念式典・祝賀会〉

川北小学校開校100周年記念祝賀協賛会

協賛会長 葦澤 喜代司



標津町立川北小学校

校長 粥川 敏宏
 児童数 89名

大正4年9月5日 私設標津原野教育所として開設

爾来百星霜

校訓:

強く

正しく

明るく

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

秋サケの水揚げは2年連続の4,000トン台と深刻な結果となった

金澤瑛町長の行政報告

基幹産業の状況は

酪農業

1 番草については、前半の適度な降水と好天により、また、後半は降水量不足となったものの、収穫量は平年を上回り、栄養価についても平年並みとなった。

2 番草についても、収穫量、栄養価とも平年並みとなった。

今年4月から11月末までの8ヶ月間における生乳生産量は前年同期とほぼ変わらず、0.4%増の65229トンとなった。生乳販売、固体販売、牧草等の販売額の合計では、11月末現在で、対前年比2.3%増の74億45百万円となった。しかし、燃料単価は減少傾向にある

が、円安の影響から相変わらず生産資材・輸入家畜飼料が高止まっており、厳しい経営を強いられ、何と云ってもTPP交渉が大筋合意となり、乳価、牛肉価格の下落の懸念、投資意欲の減退や離農に拍車がかかるなど、将来に対する不安が増している。加えて、深刻な後継者問題、長時間労働・労働力不足などの課題を抱えており、新規就農者支援、労働負担の軽減など、その対策が急務となっている。

水産業

今年の秋サケ漁の本町における水揚げは、予想を大きく下回る、2

年連続の4000トン台と大変深刻な結果となった。一方、本町の秋サケ水揚げ額については、対前年比16%増の22億84百万円となったが、これは不漁が始まる前の平成19年と比較して50%程度である。更に、10月の台風・発達した低気圧の影響に



より、定置網28ヶ統中、22ヶ統が大きな被害を受け、番屋、倉庫などの漁業施設、斜路の損壊を含む海岸浸食

被害が各所に及ぶなど、生産活動に大きな打撃となった。

本町の秋サケ漁業は、町の経済を潤す最も大切な資源である。

不漁の原因が特定されない中で確実・有効な対策を見い出せない状況だが、漁獲量の維持・安定のためには、資源造成のための親魚の確保、健康で元気な稚魚づくりが重要。

幸い今年のサケ採卵計画については、前期の順調な捕獲、定置網の一部撤去による自主規制の成果もあり、計画達成率が100%となった。

一方、ホタテ漁については、夏操業を終えた段階で冬の大しけ被害により、漁獲量が昨年同期比、約34%減の3043トンと過去5年間の同期と比べ最も

少ない数量に留まり、年間計画でも5600トンに対し、66%となる3700トンに留まることが予想されている。11月20日から秋の操業が始まっているが、10月の台風・低気圧の被害により、さらに水揚げが落ち込むことが懸念される。

水揚げ額については、平均キロ単価が前年比で約59%増の336円と高騰していることから秋操業が順調に行けば、計画を2%上回る12億59百万円と予想されている。今後とも目標である8000トン体制の確立に向けて、資源づくりに取り組む。

水産加工業は、平成20年からの連続した秋サケの不漁に加え、ロシアトロール船による乱獲、ロシア200海

里内でのサケ・マス流し網漁禁止の影響により、ますます加工原料の不足が懸念されている。

また、トラック運轉者の労働時間規制強化によるコスト増、加工資材の高止まりなどのほか、加工従業員の確保が課題となっており、これに伴う機械化の必要性など、水産加工業を取りまく環境は依然として厳しい環境にあるが、それぞれの加工場にあった対策を打ちながら、懸命な経営努力をしている。町としても、昨年度から3カ年計画で「標準ブランドづくり事業」として、活メ普及対策、付加価値向上対策、魚食普及対策など、水産物・水産加工品のブランド力アップに努めており、水産加工業者を

対象とした、地場産品の販路拡大を目的とした商談展示会や水産加

工機器の展示会への参加経費の助成制度を創設している。

久留米大学医学部より 来年度以降も医師派遣

(1) 本年も11月4日から7日に私と田中議長、大野院長、事務長の4人で、久留米大学医学部の内科学講座及び外科学講座の主任教授を訪問し、本町への医師派遣をお願い、来年度

以降も引き続き医師派遣をしていただけることになった。

(2) 久留米大学医学部の「教育関連診療科」として認定をいただいている内科学講座の星野主任教授が11月19日に来町された。星野主任教授の来町は今年2回目となり、認定病院の現状視察や派遣医師との懇談、病棟回診等が行われた。星野主任教授の来町は、平成25年から4回目となり、標準町及び標準病院にとつて大変光栄なことである。



久留米大学前にて

亜細亜大学 との包括的 連携協定

同校の栗田学長や多くの大学関係者の方と懇談する機会があり、本町と同校が人材の育成や教育、産業経済・スポーツ振興など、幅広い分野で相互に連携するため「包括的連携協定」を結ぶことを前提に調整を進めることとなった。

■亜細亜大学
※シンボルマーク



(校章)
・本部 東京都武蔵野市
・学生 短期大学を含めて7000名
・学部 経営学部、経済学部、法学部、国際関係学部、都市創造学部
文化系や体育系のクラブサークルが数多くあることから幅広い分野での連携・協力が想定される。

※亜細亜大学のシンボルマークは、昭和62年に決められました。マークは、デザイナーの瀬口真誠一氏に制作を委嘱し、数件の候補作品の中から選定されました。瀬口氏は、作品の制作意図について、「ASIAの『A』と太陽のイメージとをドッキングさせ、学園の未来に向かっての希望・発展の願いを込めたものです」と述べています。

閉会中の 継続調査

3委員会から申し出があり
承認しました

◎議会運営委員会

- ①本会議の会期日程等の会
議の運営に対して
- ②議会活動化対策に関して

◎総務経済常任委員会

- ①サーモンパークの活性化
策に関して
- ②観光行政に関して
- ③農林水産・商工行政に関
して
- ④行政組織の活性化に関し
て

◎文教福祉建設常任委 員会

- ①福祉行政の施策に関して
- ②教育行政の施策に関して
- ③建設行政の施策に関して

期限はそれぞれ
次回の定例会まで

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

項 目	金 額	内 容
ふるさと応援基 金積立金	2,574	ふるさと応援寄附(ふるさと納税)76件の積立て
高齢者福祉施設 新築事業補助金	1,188	道交付金の交付基準額変更に伴う社会福祉法人 標津福祉会が建設する小規模多機能型居宅介護 施設に対する補助金の増額
乳幼児等医療費 助成事業	2,295	受診件数(前年度同期35%増)及び1件当たりの 医療費の増による助成金の追加
子ども医療費助 成事業	2,460	受診件数が前年度同期の比較で46%増加してい ることによる助成金の追加
畜産競争力強化 対策整備事業補 助金	72,154	国の地域における酪農・畜産の生産基盤の維持・ 強化のため、地域全体で策定する実施計画におけ る農場施設整備に対する支援制度による補助金 (JA標津地区畜産クラスター協議会が計画策定、構 成員の農場整備1件に対する間接補助)

■標津町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、下記の
方々が当選されました(平成27年第4回定例会(12月10日)において)

標津町選挙管理委員会委員

(任期:平成27年12月25日~平成31年12月24日)

標津町選挙管理委員会委員補充員

(任期:平成27年12月25日~平成31年12月24日)

氏 名	住 所
矢吹 まさと 真人	標津町字川北 63番地16
森岡 いづる 茂	標津町北6条 西1丁目1番5号
佐藤 れいこ 玲子	標津町字川北 南1線西1番地6
村上 さかえ 栄	標津町字川北 1396番地

順位	氏 名	住 所
1	谷内 きえつ 基悦	標津町字伊茶仁 85番地
2	長谷川 かおる 薫	標津町北7条 西1丁目1番4号
3	川村 たつお 達夫	標津町南7条 東1丁目1番1号
4	西山 かずき 一樹	標津町北2条 西1丁目1番1号

一 般 質 問

町政のそこが聞きたい

平成27年第4回定例会(12月10日)で1議員が一般質問をしました。
質問項目とその内容を要約して掲載します。

小 川 悠 治 議員

5ページ

- 個人負担の格差3倍に!
(介護施設の現状と対策について)
- ※『陽だまり』の状況について



建設中の高齢者福祉施設『陽だまり』完成予想図

※『陽だまり』…平成28年4月オープン予定の高齢者福祉施設の名称
(定員)①サービス付き高齢者向け住宅20室21床 ②小規模多機能型居宅介護施設25名

介護施設入所

自己負担に三倍の格差
町支援の根本的見直しが必要！

このままでは介護難民が出る
早急な対策が必要

入所者に助成を考慮

問 27年4月の介護報酬改定後、手厚い介護保険適用の特養（はまなす苑）利用者と利用できない人の個人負担の格差が3倍になっている。特養は、皆の介護保険料で負担が少ないが、特養外の人は経済的に耐えられない。個人負担の均衡対策がなければ町全体としての継続した介護福祉が成立たなくなる。



小川悠治 議員

同じ標準に生まれ、同じく仕事をし、同じく町づくりに貢献してきた高齢者福祉に不公平感があつてはならない。

答 行政が対策を取らないと介護難民を生むことになる。各施設とも高齢者福祉に欠くことのできない必要な施設である。特にグループホームについては早急に対策を取りたい。

地域に貢献してきた高齢者が入居しやすいよう個人への助成を考えたい。

経営決定は独自でし、赤字は全て町任せか

標準福祉会（はまなす苑）の
代表者は誰か、経営責任の所在は？

代表者は理事長

経営責任は理事長・理事のほか管理職にも
福祉会は町福祉の要

経営・運営面で支援

問 4月開設の「陽だまり」を運営する代表者は誰か、万一の経営責任は誰が取るのか。

22年前の標準福祉会設立時と、町民が介護保険料を負担する現在の福祉事業では全く別世界である。町に關与させずに発生してきた赤字を全て町が負担している。町の福祉事業支援は当然だが、独立した民間組織として決定した責任を全て町に負わせるのは疑問。町は、経費節減も含めた経営改革に積極的に関与すべきである。

7月に設立された事業推進委員会の改革案の実行に望みを託したい。

答 施設は公設民営であり、運営する標準福祉会の理事長が代表者。経営責任は理事長と理事会にある。さらには、管理職の経営意識や体質も問われていく。

平成5年の福祉会設立時に理事就任をお願いした経緯もあると聞いている。しかし、現在の介護を取り巻く状況は一変している。福祉会に問われているのは経営体質のあり方に



建設中の高齢者福祉施設『陽だまり』



はまなす苑内の様子

尽きる。これから、いかに経営努力をするのかの自助努力が働かなければ由々しき状況になり、町財政にも重く関係してくる。

福祉会は、継続的町福祉の要であり、今後とも経営面や運営面で積極的に支援したい。

町内行政視察研修

組織図と役割

●運営組織

- 社員 代表社員1名、副代表社員2名、社員4名
- 雇用 4名（事務員1名・調製配送作業3名）
- 調製配送 雇用職員で実施
- 収穫作業 TMR組織で実施（出役）
- 役員会 代表社員1名及び部長3名（管理部・製造部・作業部各1名）

合同会社グラスONE

管理部

1. TMRセンター経理全般
2. TMR在庫調整
3. 年間作業スケジュールの計画

製造部

1. TMRの調製・配送
2. 飼料メニューの検討
3. 飼肥料資材の在庫確認及び発注
4. 労務管理・雇用労働の調製

作業部

1. 圃場管理全般
2. 草地の評価・土壌分析・肥料の選定
3. 出役作業の調整
4. 借用機械・施設の維持管理

委員会の動き

行政視察研修報告

総務

経済

10月21日、町内においては一番目の※TMRセンターとなる茶志骨の合同会社グラスONE（ワン）の施設の視察研修を行った。4万8879㎡の広大な敷地面積内の各施設及び主な機械に関して、大石代表社員より、懇切丁寧なる説明を受けた。

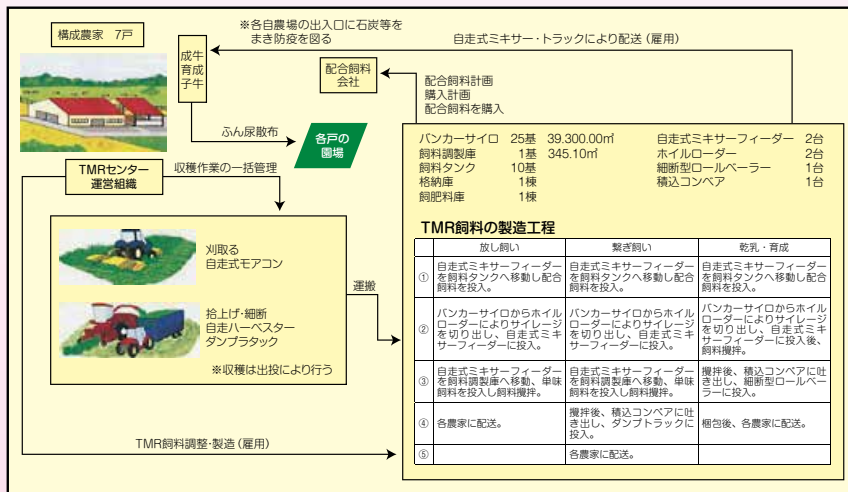
将来的には、自営の酪農ヘルパー制度も見据えて居り、次々世代に継承し得る産業としての酪農業を、安定した農業基盤の下、具現化して行く気概を感じる事ができた。

配合飼料積込



細断型ロールペーラー
TMR積込コンベア

●フローチャート



TMR（Total Mixed Rationsの略）とは、牛に必要な飼料を全て混合して均質なものにして与える餌の事。TMRセンターとは、混合した牛の餌を供給する給食センター。

合同会社 グラスONE

代表社員 大石 正一

私たちは、『グラスONE』という社名の由来のとおり、『草』を第一に考え、日々試行錯誤を繰り返してまいりました。そして、このたびその具現化のため、TMRセンターを建設・稼働する運びとなり、今後も『牛』『草』『人』を大切にして10年後の目標に『農業所得の1.5倍』を目指しております。



飼料タンクと飼料調整庫

文教

福祉

建設

11月25日に当委員会は、町内行政視察として、標津川特定河川改良工事（サーモン橋延伸工事、標津川引堤工事）の現場を視察した。この工事は標津川の異常増水時に対応する為のものであり、引堤工事は平成20年より、また、橋延伸工事は平成23年より着工し、今期をもって全て完了する予定である。



延伸工事を完了したサーモン橋



信州 長野県
Shinshu Nagano Pref.

しあわせ 信州



道外行政視察研修

総務経済常任委員会

調査項目

長野県内に於ける

- ① 池田町・松川村の定住人口促進政策
- ② 白马村の交流人口促進政策

調査期間 平成27年10月13～16日



池田町
(人口10,273人)



松川村
(人口10,021人)



白马村
(人口8,954人)

～平成27年10月1日現在(住民基本台帳)～



池田町役場庁舎にて



松川村役場庁舎にて



白马村役場庁舎前にて

道外行政視察研修報告書

標津町議会総務経済常任委員会 委員長 吉田 智



北アルプスの雄大な眺望と四季折々に彩りを成す田園風景が形成される安曇野北部に位置する「花とハーブの里」池田町と「男性長寿(平均寿命82.2歳)日本一の村」松川村。両自治体共に、土地利用調整基本計画に基づき保全地域、開発地域を区分し松本市、安曇野市近郊のベッドタウンとして、1万人強の人口を維持している。計画的な土地利用に向けた段階的の取り組みと、各産業のバランスの取れた振興政策が、しっかりとしたコンセプトの下具現化されている。

松川村役場を表敬訪問した際、平林議長を初めとして、定数12名の内10名の議員に迎えられ、標津町の人口減少時代に挑戦する政策パッケージに対して、熱心な質問を頂いた。

視察の受け入れ態勢として、当議会も見習うべきであると、委員一同感銘を受けた。

北アルプス白马連峰の3,000m近い急峻な山々が連なる美しい山岳風景を誇る、「日本の民宿発祥の地」白马村。全盛期に比べ、登山者が1/5に、スキー客が1/3に減少したが、グリーンシーズンに於いて、アウトドア体験を中心とした長期滞在型観光の確立を進めている。自然と人が融合した癒しのふるさと「白马村」のスローライフは健康的なリゾートライフである。

更に、真の国際観光都市を目指し、訪日外国人旅行者が安心して滞在できる環境づくり、効果的な誘客事業の推進の為、VJC(Visit Japan Campaign:ビジット・ジャパン・キャンペーン)等と事業連携を図り※インバウンド(inbound)事業を積極的に展開し、平成26年には77,000人の外国人観光客が宿泊している。

今回の研修成果を、今後の議会活動の糧とし、当町のまちづくり政策に積極的に提言して行く。

※インバウンド(英語:inbound)

■外国人旅行者を自国へ誘致すること。海外から日本へ来る観光客を指す外来語。行政の対策として「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2002」に従い2002年(平成14年)から始まったビジット・ジャパン・キャンペーンで知られる

決算審査特別委員会

平成27年10月26日～30日

決算審査報告

平成26年度の一般会計・8特別会計は10月26日から30日までの5日間、議長と議員選出監査委員を除く議員全員で構成する決算審査特別委員会（大垣勇委員長・南憲治副委員長）で慎重に審議され、理事者及び各課主査以上の職員が出席し、質疑終了後、会計ごとに討論・採決を行った。

決算審査特別委員会では、活発な質疑が行われ、委員会としては各会計とも原案どおり認定すべきものと決定した。

平成27年第4回定例会において、大垣委員長から委員会審査報告がなされ、各会計とも委員長報告のとおり全会一致で認定された。

議案番号	事 件 名
認定第1号	平成26年度標津町一般会計決算
認定第2号	平成26年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算
認定第3号	平成26年度標津町国民健康保険特別会計（病院事業）決算
認定第4号	平成26年度標津町介護保険特別会計（事業勘定）決算
認定第5号	平成26年度標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）決算

議案番号	事 件 名
認定第6号	平成26年度標津町後期高齢者医療特別会計決算
認定第7号	平成26年度標津町簡易水道特別会計決算
認定第8号	平成26年度標津町下水道特別会計決算
認定第9号	平成26年度標津町金山地域休養施設特別会計決算

決算審査

総括Q&Aより

Q ふるさと納税について、本町も農業・水産に関して特産品が数々ある。納税金の増額もあるが、特産品の消費拡大を検討しては。

A インターネットのふるさとチョイスには本町も登録している。何れにしてもやっていない町、一方でメニュー開発をしても納税が無い町もあるやに聞いている。どれがいいのかも含めて検討したい。

委員会報告

委員会審査報告書には次の意見を付して、議長宛提出した。

一、地方自治・新時代的に確に対応していくためには、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できるよう

体質を強化することが重要であり、そのためには、職員の資質のより一層の向上を図り、その有している可能性・能力を最大限引き出していくことが必要である。

地方行政にあっても、説明責任、住民参加等への対応が的確にでき、地域経営（マネジメント）の概念を理解し、町民と共に町づくりに貢献できる職員を育成していかなければならない。

以上のことから、職員のスキルアップ研修費を有効に活用し、政策形成能力や創造的能力、法務能力等、職員個々の更なるスキルアップの推進により、行政政策のより効果的な事務に努め、事業推進のスピードアップを図ること。

平成26年度 まちの決算書

一般会計

歳入 60億8,677万円

歳出 59億4,665万円

差 引

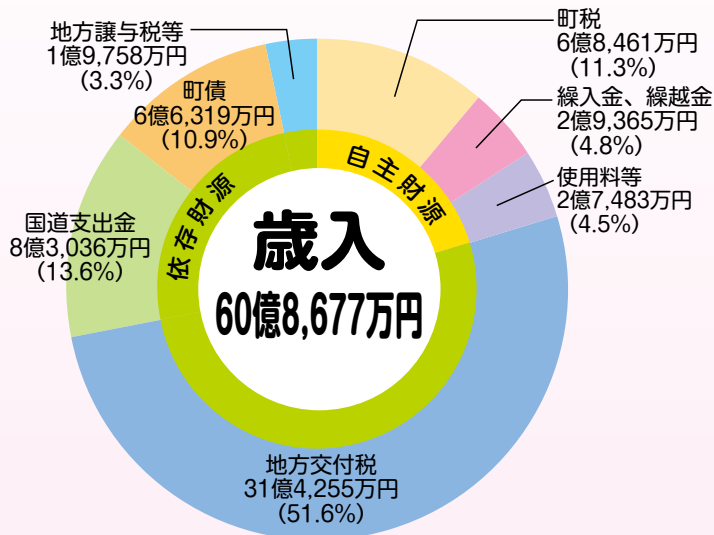
1億4,012万円

歳出

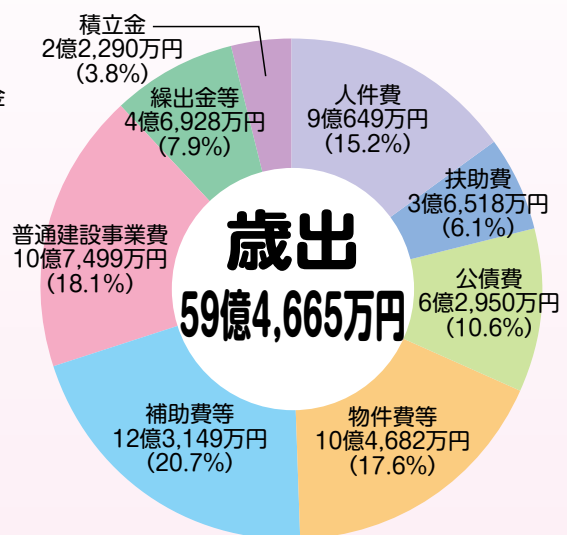
対前年比
4%減

～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの推進～

「財源別」内訳



「目的別」内訳



※自主財源 12億5,309万円 (20.6%)
※依存財源 48億3,368万円 (79.4%)

町債＝借金

公債費＝返済金

積立金＝貯金

各会計 歳入・歳出決算総括表

会 計 区 分			歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計			60億8,677万円	59億4,665万円	1億4,012万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計（事業勘定）		8億8,160万円	8億8,160万円	0
	介護保険特別会計（事業勘定）		4億4,928万円	4億3,345万円	1,583万円
	介護保険特別会計(サービス事業勘定)		2,523万円	2,523万円	0
	後期高齢者医療特別会計		1億1,254万円	1億1,238万円	16万円
	簡易水道特別会計		1億9,074万円	1億8,936万円	138万円
	下水道特別会計		3億1,843万円	3億1,843万円	0
	金山地域休養施設等特別会計		1,760万円	1,760万円	0
	特 別 会 計 合 計		19億9,542万円	19億7,805万円	1,737万円
企 業 会 計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	収益的収支	8億2,508万円	8億255万円	2,253万円
		資本的収支	7,850万円	7,850万円	0
	企業会計合計		9億358万円	8億8,105万円	2,253万円
総 計			89億8,577万円	88億575万円	1億8,002万円

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

寄稿

故郷

酪農業 星 ひとみ

先日諸君で、出向いていた札幌市で奇跡のような出会いがありました。

偶然乗ったタクシーの運転手さんに、何気なしに、悪天候で、中標津空港からの飛行機が欠航になった事など正直、間を持たせるための世間話をしたつもりでしたが……

でも、次の瞬間、運転手さんから以外な言葉が返ってきました。「そうですね、実は私は隣の標津町古多糠というところの生まれなんです」「えー!!」私は道東から離れたところで『標津』を説明するとき、土別と間違われたりして面倒な思いから、根室の方とか、中標津からとか、適当に話を合わせる事が多かったのですが、私が標津町の住民であることが告げる前に『標津』の名前が出て驚きました。運転手さんは続け

ます。

「私の故郷は、海の近くなんです。豊かな自然がいっぱいあって、魚がたくさんとれて、人情があつて……大人になる前に引越しちゃったけど、思い出がいっぱいで、とてもいい所なんです」^{あせせん} 唖然とする私に、運転手さんは更に続けます。

「今でも親戚が標津にいます。故郷はいいものですね」彼が口にした親戚の中に、たまたま私の知り合いがいて、タクシーの中は、思わず盛り上がりました。

不思議なもので、『故郷』という言葉は、都会のご真ん中で、初めて出会う見ず知らずの人をぐっと身近かに引き寄せてしまします。標津を遠く離れたところから、この町を懐かしく大切に想う人がある。なんだか胸が熱くなる思いでした。

彼が通っていた古多糠小中学校

は、今は川北と統合され廃校となつてしまいました。時代の移り変わりと共に、過疎化・少子高齢化の波は確実に我が町にも押し寄せています。たとえ母校がなくなつてしまつても、母なる標津の川々から巣出つていった鮭のように日本全国に、この町の応援団がいる事を実感しました。今現在、標津に育つ子供たちは減少傾向にあります。さみしい事です。小さな町では、小中学校や高校の学舎で共に学び、楽しく遊んだ仲間が、全員が幼馴染です。中には一生涯の親友を得る人も多いでしょう。

自然の恵みが多いこの町だから酪農・漁業と変わらぬ景色があり、なつかしい人々が町を守り支えています。この町に住む人、この町から離れて暮らす人、『標津が故郷です』という、すべての人の心の中で、いつまでも『自慢の故郷』であり続けていたいと思つてきこつてました。

編集室



平成28年が始まりました。標津町民にとつて平穩かつ活力のある年であることを祈るものです。

昨年は、何と云つても秋サケ漁の不振で漁業者はもちろん、多くの町民が影響を受けました。今年こそは期待します。

広報特別委員会のメンバーが変わつてから約8カ月を経過しました。町民と町議会を結ぶ重要な役割を任せていることを再認識しながら「議会だより」を発行していきます。

(大垣 勇)



議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 吉田
委員 長 吉田
副委員長 吉田

委員 勇智

委員 山崎

委員 照男

委員 英司